

# 一般質問

12月定例会の一般質問は、12月9日・10日・11日の3日間にわたり次の13人の議員が行いました。質問事項およびその概要は次のとおりです。

岩井文男 議員



**問** 都市計画税は、都市機能を整備するための目的税ですが、本市では使用方法に不公平感があると考えています。その見解を伺います。

**答** 現在、都市計画税は、全額下水道事業に繰り入れていきます。下水道事業の平成20年度決算は、総額約24億2千万円で、その財源として一般会計から約7億2千万円を繰り入れ、そのうち都市計画税が約4億7千万円です。本市の

都市計画事業は、現在下水道事業だけでなく、地域的に見ると西部地域に、その恩恵がなく不公平感はあると思います。今後、ランドデザインを考えていくうえで重要な課題になると思っています。

**問** 銚子連絡道路の進捗状況と国の事業仕分けによる影響について伺います。

**答** 銚子連絡道路は、平成6年12月に計画路線に指定され、山武市から横芝光町までの区間が平成18年3月に供用を開始しました。その後、横芝光町から匝瑳市までの区間が平成19年度から事業に着手しています。千葉県では、地域高

**問** 縦割りの無駄や弊害を克服するために、周辺自治体と



桜井隆 議員

規格道路として重要な路線であることから、必要な予算は国に対して要望済みであると伺っています。

また、国の事業仕分けによる影響については、国から明確な回答がない状況にあると伺っています。本市としても、早期全線開通に向けて今後も積極的に要望活動を行っていきたくと考えています。

**問** 周辺自治体との連携について伺います。

**答** 周辺自治体との連携については、東総地区広域市町村圏事務組合や東総広域水道企業団などの一部事務組合を設け、広域ごみ処理施設建設や水道用水供給事業などの構成団体事務の共同処理を実施しているほか、新たに消防事務の広域化についても取り組んでいるところとです。

今後、医療を始め行政サービスの向上やコスト圧縮が見込まれる事務についても周辺市町と積極的に連携、協力して圏域全体の活性化を図って

いきます。

**問** 高齢者にとって使い勝手のよいコンパクトな移動手段として、小回りのきく便利なデマンド交通システムの導入について、伺います。

**答** デマンド交通システムの導入は、人口の減少や景気が厳しい状況にある中で、苦しみなながらも経営を続けている事業者などに致命的なダメージを与えてしまう場合が考えられますので、業界と十分相談しながら、大きな変化の中でみんながバランスよく成長できる需要が増えるような方法が取れるか、十分検討する価値があると思っています。

岩井文男 (21クラブ)

- 市長の施策について
  - ・行財政改革について
  - 幹線道路整備事業について
- 桜井隆 (公明党)
- 今後の銚子市の行財政改革と成長戦略について
  - 暮らしやすい街づくりについて
  - ・市民が望む病院(救急医療)について

伊藤隆司 (新政党)

- 新年度の予算編成と取り組みについて
- ・市立病院再開について
- 災害に強い街づくりについて

工藤忠男 (緑の会)

- 銚子市の観光行政について
- 小・中学校再編について
- ・PFIによる学校給食センターについて

山崎和男 (市民クラブ)

- 銚子市が目指す都市環境整備について
- ・産業振興について
- 農業振興について

笠原幸子 (日本共産党)

- 安心・安全なまちづくりについて

星伸人 (公明党)

- 新年度の市政運営について
- ・まちづくり基本条例(自治基本条例)の制定について
- 市民への情報提供と協働について

小林良子 (リベラル銚子21)

- 市立病院再開について
- 公有地の売却について

三浦真清 (日本共産党)

- 来年度予算編成と諸問題について
- 市立病院の再生問題について

加瀬庫藏 (銚子友会)

- 市立病院の再開について
- 市長の政治姿勢について

宮内和宏 (リベラル銚子21)

- 市長の政治姿勢について

吉田忠三 (日本共産党)

- 地球温暖化対策とごみ処理問題について
- 市民の暮らし・福祉を守る施策の充実について

越川信一 (新風会)

- 「いのちの市政」について
- ・神栖市との連携・協力について
- ・海岸環境の保全について

注：●の項目は質問の概要を掲載しています。